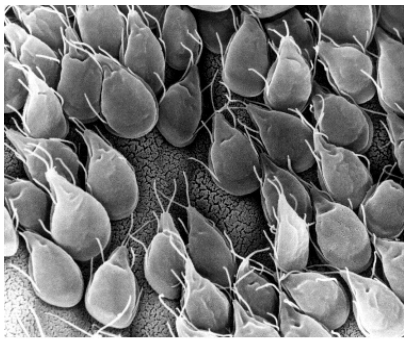
山口県感染症発生週報 （第30週：平成25年7月22日～7月28日）

1 全数把握感染症


ジアルジア属原虫
CDC/ Dr. Stan Erlandsen

【2類感染症】
・結核：24週追加　1例（柳井）。29週追加　2例（宇部1、長門1）。
30週 6例（柳井1、周南2、宇部2、長門1）。
【3類感染症】
・腸管出血性大腸菌感染症：3例（宇部2 O157 VT1VT2、山口1 O157 VT1）。
【4類感染症】
・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）：1例（柳井）
【5類感染症】
・ジアルジア症：1例（山口）。
・風しん：1例（防府 40歳代男性）。平成25年の山口県内累計は24例で、発生が続いています。全国的には、5月をピークに減少しています（第29週までの累計は13,110例）。

2 定点把握感染症（5類感染症）

(1)特記事項

・RSウイルス感染症：宇部で報告数が増加しています。秋から冬に流行する疾患ですが、昨年は、8月中ごろから増加し始め9月に急増するなど例年より時期が早い特徴がありました。今年も早い時期の報告が増えています。
・手足口病：県全体の報告数は28週をピークに減少していますが、すべての地域で警報レベルが続いています。引き続き注意が必要です。[警報レベル：柳井（4週目）、山口（6週目）、周南（5週目）、長門（5週目）、岩国（6週目）、下関（5週目）、防府（7週目）、萩（6週目）、宇部（7週目）]※
・ヘルパンギーナ：萩で報告数が増加し、警報レベルとなりました。長門、下関で警報レベルが続いています。県全体での報告数は、減少傾向にあります。[警報レベル：萩（1週目）、長門（11週目）、下関（2週目）]※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuiho.php

(2)週別発生状況

疾患名	28週	29週	30週	疾患名	28週	29週	30週
インフルエンザ	0	0	0	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	13	25	40	ヘルパンギーナ	180	172	157
咽頭結膜熱	18	20	25	流行性耳下腺炎	14	6	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	85	56	88	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	165	161	171	流行性角結膜炎	0	1	2
水痘	36	33	25	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	806	590	428	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	3	1	4	マイコプラズマ肺炎	1	1	1
突発性発しん	27	27	39	無菌性髄膜炎	0	1	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	1	0	11	3	2	20	3	0	40
咽頭結膜熱	16	1	0	6	1	1	0	0	0	25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	6	5	14	2	33	0	0	8	88
感染性胃腸炎	25	21	0	31	7	31	37	0	19	171
水痘	2	7	2	4	0	2	8	0	0	25
手足口病	88	47	46	101	19	75	22	22	8	428
伝染性紅斑	2	0	0	1	0	1	0	0	0	4
突発性発しん	7	2	3	6	2	5	4	6	4	39
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	61	2	4	17	4	12	17	20	20	157
流行性耳下腺炎	0	2	0	1	1	1	2	1	0	8
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

山口県感染症情報センター（山口県環境保健センター内）
電話：083-922-7630　FAX：083-922-7632
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/